

本年度の結果

	国語
阿蘇市	62
全国	67.7

領域別	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に関 する事項	我が国の言語文化 に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
阿蘇市	54.2	85.5	65.1	51.0	67.8	69.5
全国	64.4	86.9	74.6	59.8	68.4	70.7
観点別	知識・技能	思考・判断・表現				
阿蘇市	61.2	62.1				
全国	69.8	66.0				

本年度の主な結果について

- 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことはできている。
- 物語を読んで、心の残ったところとその理由を登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付けて書くことができている。
- 複数の資料を活用するなどして、自分の考えを伝えるように表現を工夫することに課題がある。
- 学年別漢字配当表に示された感じを文の中で正しく使うことに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことはできている。(2ー(2))
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることはできている。(3三)

【課題】

言葉の特徴や使い方に関する事項

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。(競技、投げる)(2三ア、イ)
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることに引き続き課題がある。(3一)

話すこと・聞くこと

- 資料を活用するなどして、自分の考えを伝えるように表現を工夫することに課題がある。(1二(2))
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題がある。(1三)

書くこと

- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。(2二)

読むこと

- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに課題がある。(3二(1))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「国語の勉強は好き」「国語の勉強は大切」は、全国を上回っている。
- 「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いているか。」については、全国を上回っている。

【課題】

- 「国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している」ことについては、全国を下回っている。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- OPDCAサイクルによる課題探究型学習を進め、課題設定―見通し―解決する―まとめ―振り返りの学びを構築する。さらに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な取組を推進を図る。
- 「読むこと・聞くこと」の指導改善では、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する授業を展開する。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を、漢字の持つ意味を考えて使う習慣が身に付くように授業でも展開する。

【日常的な取組】

- 日常的に言葉による見方・考え方を働かせるとともに、言語感覚を養い、自分なりのものの見方や考えを形成する場を設ける。また、読書活動や速音読にも積極的に取り組む。

【家庭学習等】

- 授業と連動した家庭学習の習慣化とともに、予習や復習の内容の充実を図る。